

25日 木曜

列王 I

- 9:10 ソロモンが【主】の宮と王宮との二つの家を二十年かけて建て終えたとき、
- 9:11 ツロの王ヒラムが、ソロモンの要請に応じて、杉の木材、もみの木材、および金を用立てたので、ソロモン王はガリラヤ地方の二十の町をヒラムに与えた。
- 9:12 ヒラムはツロからやって来て、ソロモンが彼に与えた町々を見たが、彼はそれらが気に入らなかった。
- 9:13 彼は、「兄弟よ。あなたが私に下さったこの町々は、いったい何ですか」と言った。そのため、これらの町々はカブルの地と呼ばれ、今日に至っている。
- 9:14 ヒラムは王に金百二十タラントを贈っていた。
- 9:15 ソロモン王は役務者を徴用して次のような事業をした。彼は【主】の宮と自分の宮殿、ミロとエルサレムの城壁、ハツオルとメギドとゲゼルを築き直した。
- 9:16 かつてエジプトの王ファラオは、上って来てゲゼルを攻め取り、これを火で焼き、この町に住んでいたカナン人を殺して、ソロモンの妻である自分の娘に結婚の贈り物としてこの町を与えた。
- 9:17 ソロモンはこのゲゼルを築き直したのである。また、下ベテ・ホロン、
- 9:18 バアラテ、この地の荒野にあるタデモル、
- 9:19 ソロモンの所有するすべての倉庫の町々、戦車のための町々、騎兵のための町々、またソロモンがエルサレム、レバノン、および彼の全領地に建てたいと切に願っていたものを建てた。
- 9:20 イスラエル人ではない、アモリ人、ヒッ



- タイト人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の生き残りの民すべて、
- 9:21 すなわち、この地に残されていた人々、イスラエル人が聖絶できなかった人々の子孫を、ソロモンは強制労働に徴用した。今日に至るまで、そうである。
- 9:22 しかし、ソロモンはイスラエル人を奴隷にはしなかった。彼らは戦士であり、彼の家来であり、隊長であり、補佐官であり、戦車隊や騎兵隊の長だったからである。
- 9:23 ソロモンには工事の監督をする長が五百五十人いて、工事に携わる民を指揮していた。
- 9:24 ファラオの娘が、ダビデの町から、ソロモンが彼女のために建てた家に上って来たとき、ソロモンはミロを建てた。
- 9:25 ソロモンは、【主】のために築いた祭壇の上に、一年に三度、全焼のささげ物と交わりのいけにえを献げ、それらとともに【主】の前で香をたいた。彼は神殿を完成させた。
- 9:26 また、ソロモン王は、エドムの地の葦の海の岸辺にあるエイラトに近いエツヨン・ゲベルに船団を設けた。
- 9:27 ヒラムはこの船団に、自分のしもべで海に詳しい水夫たちを、ソロモンのしもべたちと一緒に送り込んだ。
- 9:28 彼らはオフィルへ行き、そこから四百二十タラントの金を取って、ソロモン王のもとに運んだ。

ソロモンはこの直前に、神様から「あなたがたとあなたがたの子孫が、わたしにそむいて従わず、あなたがたに授けたわたしの命令とわたしのおきてを守らず、行ってほかの神々に仕え、これを

拝むなら、わたしが彼らに与えた地の面から、イスラエルを断ち…」という警告を与えられていました。

しかし彼がすぐに行ったことは、国を政治的に建て上げることであって、信仰的に建て上げることではありませんでした。すばらしい知恵と手腕を持ったソロモンでありましたが、それゆえに自分の力に頼ってしまい、一番大切なものを後回しにしてしまったのです。

主への純粋な信仰を後回しにしていないか、自分の思いと行動を考えて見ましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

